

ボルダールの全国大会で優勝
橋本 暖さん・12歳 大胡小6年

壁を乗り越え夢をかなえる

10月に開催された「第8回全国ボルダール小学生競技大会」などで全国優勝を重ねている橋本さん。ボルダールとの出会いは4歳。母親と登ったことがきっかけだった。

「本格的に練習をするようになったのは小2から。週3～4回の通常練習に加え、土日は県外の練習場に遠征することもあります。練習場ごとに異なる課題（コース）に挑戦し、大会を意識してどんな課題でも一度で登るようにしています」

小3で初めて出場した全国大会の結果は4位。「もっと上を目指したい」と強く思い、本気で取り組むようになった。そして今年、念願の全国優勝。「めっちゃうれしかった」と無邪気な笑顔を見せた。

憧れは、オリンピック連覇のヤンヤ・ガンブレット選手とワールドカップ優勝経験のある野口啓代さん。「オリンピックで金メダルを取りたい」と夢を語る。まずはワールドユース大会や「湯けむり国ス



ポ・全スポぐんま2029」への出場を目指す。

「家では読書や手芸などをして過ごしています。好きな食べ物は果物とアイスクリームです」と競技とは別の一面ものぞかせる橋本さん。

努力と笑顔で壁を越え続ける橋本さんの挑戦はまだ始まったばかり。未来のオリンピックを目指す瞳は、すでに世界の頂へと向かっていた。

CITY フォーカス

本市のイベントや
事業などを紹介



雑誌通じた知の追体験

1月25日(日)まで、前橋文学館で企画展「夢の明るい鏡―三浦雅士と1970年代の輝き：『ユリイカ』『現代思想』の軌跡」を開催中。三浦雅士さんが編集者を務めた雑誌「ユリイカ」「現代思想」の展示や、映像などを通じて当時の知的活気を伝えています。三浦さんによる講演や対談も開催しました。



前橋ウィッチーズ 通信

©PROJECT MBW

chap.2
広がるまちの魅力



固 観光政策課
☎ 027-257-0674



本コラムでは、本市を舞台にしたアニメ「前橋ウィッチーズ」に関するさまざまな話題をお届けしています。今回は本市と前橋観光コンベンション協会が、地域の事業者などと連携して実施した施策を紹介します。

●舞台めぐり BOOK

本市の特徴と舞台となった中心市街地や大胡地区を、作品のシーンと合わせて紹介する「前橋ウィッチーズ舞台めぐりBOOK」を作成。7月に配布開始し、3カ月経たずに予定枚数が終了、増刷をして12月下旬より市内2カ所の観光案内所で配布しています。また、前橋観光コンベンション協会ホームページ「前橋まるごとガイド」でPDF版をご覧ください。

●公共交通とのコラボ

舞台探訪やイベント時の移動も楽しんでもらうため、上毛電鉄やバス、タクシーなどの車両ラッピングを実施。市内では、キャラクターが描かれた車両が行き交っています。また、路線バスの車内では、オリジナルアナウンスを放送中。作品ゆかりの全10スポットで22種のキャラクターの声を聞くことがで

きます。さらに、1月15日(日)からは上毛電鉄でも車内放送が始まります。

●観光案内所やイベントでの取り組み

市内2カ所の観光案内所（JR前橋駅構内・道の駅まえばし赤城）では、11時と15時の1日2回、オリジナルボイスで観光スポットなどを紹介しています。また、前橋花火大会などのイベントには声優キャストが来場し、会場を盛り上げました。

●ファンとのつながり

前橋ウィッチーズのファンの皆さんは、本市の新たな施策に関心を寄せ、前橋を何度も訪れ、SNSで魅力を発信してくださっています。これからも前橋ウィッチーズと本市を盛り上げていけるように新たな連携事業を企画中です。今後も本コラムをお楽しみに！



歩いて巡る大胡の歴史

12月14日、大胡城を囲む史跡巡りガイドツアーを開催しました。市内外から16人が参加し、大胡歴史研究会の解説を聞きながら、大胡城跡などの史跡や日光裏街道の宿場町として栄えた町並みを散策。参加者は先人が築いた大胡の歴史と文化に触れ、地域の魅力を再発見しました。

防災意識高める研修会

12月8日に東市民サービスセンターで東地区防災研修会を開催。起震車による地震体験や防災の講話を実施しました。また、今回は避難所のごみ分別についての講話や仮設トイレの見学などの内容も追加。より災害時の生活に密着した災害対応の心構えを学びました。

